

令和 7 年度沖縄国際物流拠点産業集積地域内施設指定管理者制度運用委員会
におけるモニタリングの検証結果について
(令和 6 年度実績分)

1. 施設名：沖縄国際物流拠点産業集積地域うるま地区内賃貸工場及びうるま地区内企業立地サポートセンター
2. 開催日時：令和 7 年 7 月 31 日（木）午後 1 時から午後 3 時まで
3. 開催方法：W e b 会議アプリケーション「Z o o m」を使用したW e b 会議
4. 出席者：委員 6 人中 4 人出席
(会長) 沖縄国際大学 経済学部教授 島袋伊津子
(委員) 浦添商工会議所 中小企業部長 新垣直美
(委員) 双日ロイヤルインフライトケイタリング株式会社 沖縄工場長 大島孝之
(委員) M R O J a p a n 株式会社 事業推進部総務課長兼広報課長 鈴木隆一
(事務局) 商工労働部企業立地推進課
(指定管理者) 株式会社沖縄ダイケン
5. 検証事項：沖縄国際物流拠点産業集積地域うるま地区内賃貸工場及びうるま地区内企業立地サポートセンター（令和 6 年度実績）に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
 - (1) モニタリングは適正に行われているか。
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
 - ・ 沖縄国際物流拠点産業集積地域うるま地区内賃貸工場及びうるま地区内企業立地サポートセンターのモニタリングは適正に行われ、指定管理者に対する県の指導・助言、利用者アンケートや苦情に対する指定管理者及び県の対応は概ね適切に行われている。
9. 主な質疑・意見

(委員)	指定管理の重点事項の評価が B となっている。今後、評価を A に改善するためには修繕等の優先順位を決定し、予算内での執行が必要となるのか。
------	--

(事務局)	当該評価の方法に疑義があると考えている。そのため、うるま地区の重点取組事項の評価は執行率となっている。今回は、事業計画より、執行額が低かったというところでBの評価となっている。 しかしながら、限られた予算の中で優先順位を決定するなど、工夫をしながら必要な修繕を行ったと考えており、評価の方法については、今後検討していきたいと考えている。
(委員)	備品台帳に掲載されている備品を廃棄する場合に、県へ手続きを行っているのかお聞かせいただきたい。
(事務局)	当該リストにある備品については、例年前年度と備品台帳を比較して処分や購入等を確認している。
(委員)	県の一部財産というところもあるので、今後は事後報告というより、都度相談などされて処分などを行ったほうがよいと思う。
(事務局)	おっしゃるように、今後は処分など行う前に事前に相談や協議を行って進めていきたい。
(委員)	消耗品費と備品の分かれめなどの基準はあるのか。 ない場合は、今後すり合わせて基準などを定めたほうがよいかと考える。
(事務局)	令和6年度に備品として購入した台車は3万円以下となっており、県の基準でいうと消耗品として取り扱われる。今後、指定管理者とすり合わせなど行い、基準について検討していきたい。
(委員)	地震や津波の訓練の実施などが確認されているが、防火訓練などの実施も確認されているのか。
(事務局)	防火訓練に関しては、工場内で行うものと考えており、企業様自身で行っていただくものと認識している。
(委員)	漏水事故の注意喚起について、他の県が管理する施設にも皆様から、行っていただけないか。
(事務局)	令和6年度の2～3月頃には、当該地区内の企業に保守点検を実施するよう通知しているが、今後他の地区や指定管理者等にも共有していきたい。

10. 会議の公開状況：公開